

令和7年度 防災に関する授業（宮川小学校）

協力：宮川町防災士会

- 1 日時 令和7年12月8日（月）5・6時間目 （地域学校協働活動）
- 2 ねらい
 - ①避難所になった学校で自分たち小学生ができることを考える
 - ②自分たちが学校に預けている「避難グッズ」を確認する
 - ③学校が避難所になった時のための学校の備えを知る
 - ④防災時の食事について考える
- 3 設定
 - ・大雨で河川が増水し、学校に繋がる上下線の道路が通行止めとなる。
 - ・学校周辺地域（林地区）の住民に避難指示が出され、地域の方々が学校体育館に避難してきた。
 - ・児童は、下校バスが運行できないために学校に留まることになる。
 - ・電気、ガス、水道などのライフラインは今のところ正常に使用できる。
- 4 参加者 宮川町防災士5名
児童 6名 （当日は3名欠席）

4 当日の流れ

時間	内容	担当
13:10～ 5 限目 ・避難所設営 運営について説明	<p>○本時の設定を知る</p> <p>◎児童は、どんなことが必要になってくるか予想する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの経験を生かして自分なりの考えをもつ <p>○避難所設営に関するお話を聞く（担当のプレゼン紹介）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんなふうに避難所が設営されるのか <p>○自分たちの備えについて考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の学校備蓄について（どんなものを備えているか開けて確認する） <p>○防災倉庫の中には何が蓄えられているのかを知る</p>  <p>◎避難所が設営されたら どんなこと、どんなものが必要になってくるか考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何が必要か ・倉庫のものをどう生かしていくか 	<p>担当</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらい、設定の説明、課題提示 ・避難所の設営までを写真などで紹介する ・自分たちの備蓄品を持ってこよう促し中身を確認する <p>防災士 防災倉庫の中身、避難所設営についての説明</p> <p>担当 必要になるものについて児童に考えるよう促す</p> <p>防災士 防災食のつくり方、給仕の工夫、コミュニティの場を確保する</p>
14:05～ ・非常食について調理の仕方を学ぶ ・給仕の仕方を考える	<p>◎食事について実際に関わっていることをとおして、どんな関わり方ができるか考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災食を教えていただきながら作る。 α米4種（混ぜご飯・白米・お茶味米カレーピラフ） 切り干し大根&ツナ&野菜ジュース、バナナ&きな粉 ・食器の有効活用のためのラップの使い方 ・ランチルームを活用した避難所の喫食 ・自分たちが関われることについて考えを交流する ・実際に喫食する ・ランチルームの活用で気づいたことを発表する 	

5 児童の感想より

1 年女児：私の箱にトイレトペーパーがなかったのでもってこればよかったなあと思いました。

(トイレになくなった時に使えるから)

3 年男児：今日は、ぼくのは寝袋しか入っていなかったので、ちゃんと食べ物とかを入れときたいと思います。しかも今日は、バナナやご飯を食べれたのでうれしかったです。家に帰ったら準備したいと思いました。

3 年女児：今日は、防災倉庫の場所を知って初めてあることを知ったし、防災食のドライライスに野菜ジュースを入れるのがとってもおいしかったです！物は、絆創膏などがいると思いました。

(けがをした時につかえるから)

3 年女児：避難のための準備で学校の防災倉庫を見て、最低でも3日いるんだなあと思いました。自分の防災の備えは3日分もないだろうから、次からはそういったことにも気をつけていきたいと思います。それに避難した時にどこに何を設置するかなども知れてよかったです。防災の備えで賞味期限が切れている食べ物があったし、救急セットのようなものもないから、そういったことも考えて次からは入れたいです。

4 年男児：今日は、避難について、避難にはどんなことが大事かで、食料や、栄養、水分、その他が大事ってことがわかりました。

6 年男児：今日は、学校に避難したことを考えました。プライベートルームと区画が決められていることを初めて知りました。自分の防災品もあるけど、地域の防災品もあって、ゲートボール場の近くの倉庫にあるのも初めて知りました。防災食は水やお茶でもできるそうなので、覚えていきたいです。少しきな粉などを加えるのもいいと知りました。

防災士さんより

- ・個人の備蓄品の置き場所を1階にしたらどうか。(3階だと取りに行くのに時間がかかる)
- ・「命を守る防災カード」を活用して、何かあった時のための集合場所などを家族と相談しておくこと。時間が取れたら、説明して渡してほしいとのこと。

成果と課題

○学校がどのように避難所になるのか大まかな流れをつかむことができた。

○自分が学校に備えている備蓄品を開き、不足しているもの、しっかり準備できているものについて現物を見ながら確認し、備えの必要性を再確認できた。

▲振興事務所の方にも参加していただき、学校が避難所になった時の流れを説明していただけるとよかった。(いろんな立場の方から説明を受けたり情報を共有できたりするとよい。)

▲避難所で小学生である自分がどんなことができそうかまでは、思考を深めることができなかった。本時避難所設営の流れをつかんだので、この後自分たちが避難所のためにどんなことができそうかを考えていけるとよい。

今後に向けて

◎中学生から教えてもらったことや、今回の授業、高学年は河合小学校との防災に関する交流などから学んだことを想起し、繋げて防災について深く考えられるとよいと感じた。